

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	京都市域において浸水被害の最小化を目指す「雨に強いまちづくり」（防災・安全）														
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	京都市														
計画の目標	局地的な集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う雨水流出量の増大に対し都市型水害のリスク軽減を図るため、京都市内を流れる都市基盤河川の改修を進め、安心安全な市民生活の確保を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		6,059	A	6,049	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0.16	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	京都市内を流れる都市基盤河川の流域において、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対する浸水想定面積（以下、想定面積）を23.9%減少させる。（222ha（H27）から169ha（H31）へ減少）			
	京都市内を流れる都市基盤河川の流域において、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対する浸水想定面積の減少率を算定する。 想定面積の減少率（%）={1-（H31末の想定面積(ha)）／（H27当初の想定面積(ha)）}×100=（1-169/222）×100	0%	12%	24%
2	京都市内を流れる都市基盤河川の流域において、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対する浸水想定家屋数（以下、想定家屋数）を24.1%減少させる。（9,205戸（H27）から6,982戸（H31）へ減少）			
	京都市内を流れる都市基盤河川の流域において、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対する浸水想定家屋数の減少率を算定する。 想定家屋数の減少率（%）={1-（H31末の想定家屋数(戸)）／（H27当初の想定家屋数(戸)）}×100=（1-6,982/9,205）×100	0%	8%	24%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中核都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
・京都市水共生プランに基づき実施される要素事業：A1-1, A1-2, A1-3, A1-4, A1-5, A1-6, A1-7, A1-8, A1-9, C1-1												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
河川事業	A03-001	河川	一般	京都市	直接	京都市	都市基 盤（1 ）	－	淀川水系西羽東師川都市 基盤河川改修事業	護岸，橋梁，用地，設計（L=230m）	京都市	■	■	■	■	■	990		－
		参考図面（A1-1）																	
	A03-002	河川	一般	京都市	直接	京都市	都市基 盤（1 ）	－	淀川水系善峰川都市基盤 河川改修事業	護岸，用地（L=250m）	京都市		■	■	■	■	285		－
		参考図面（A1-2）																	
	A03-003	河川	一般	京都市	直接	京都市	都市基 盤（1 ）	－	淀川水系西高瀬川都市基 盤河川改修事業	護岸，橋梁，設計（L=88m）	京都市	■	■	■	■	■	766		－
		参考図面（A1-3）																	
	A03-004	河川	一般	京都市	直接	京都市	都市基 盤（1 ）	－	淀川水系新川都市基盤河 川改修事業	護岸，橋梁（L=198m）	京都市	■	■	■	■	■	909		－
		参考図面（A1-4）																	
	A03-005	河川	一般	京都市	直接	京都市	都市基 盤（1 ）	－	淀川水系旧安祥寺川都市 基盤河川改修事業	水路トンネル，沈砂池（L=290m）	京都市	■	■	■	■	■	1,262		－
		参考図面（A1-5）																	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
河川事業	A03-006	河川	一般	京都市	直接	京都市	都市基 盤（1 ）	－	淀川水系西野山川都市基 盤河川改修事業	護岸，用地，設計（L=118m）	京都市		■	■	■	■	300		－	
		参考図面（A1-6）																		
	A03-007	河川	一般	京都市	直接	京都市	都市基 盤（1 ）	－	淀川水系七瀬川都市基盤 河川改修事業	遊水地，用地，設計（L=145m）	京都市	■	■	■	■	■	657		－	
		参考図面（A1-7）																		
	A03-008	河川	一般	京都市	直接	京都市	都市基 盤（1 ）	－	淀川水系東高瀬川都市基 盤河川改修事業	護岸，橋梁，設計（L=590m）	京都市	■	■	■	■	■	750		－	
		参考図面（A1-8）																		
	A03-009	河川	一般	京都市	直接	京都市	都市基 盤（1 ）	－	淀川水系安祥寺川都市基 盤河川改修事業	測量，設計（L=200m）	京都市					■	■	130	16.1	－
		参考図面（A1-9）																		
											小計						6,049			
											合計						6,049			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
河川事業	C03-001	活動支援	一般	京都市	間接	水防事務組合	—	—	水防訓練実施支援	水防訓練実施用の備品，資機 材購入	京都市	■	■	■	■	■	10		—	
		災害発生時に備えた水防活動を訓練するとともに，防災に関する啓発を行い，災害発生時における被害の軽減を図る。																		
		参考図面（C1-1）																		
												小計						10		
											合計						10			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
京都市において評価を実施	令和３年度
	公表の方法
	市公式ホームページでの公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・河川改修実施率を高めた結果、治水安全度の向上に寄与し、京都市内を流れる都市基盤河川の流域において、概ね１０年に１回程度発生する規模の降雨に対する浸水想定面積が減少した。 ・河川改修実施率を高めた結果、治水安全度の向上に寄与し、京都市内を流れる都市基盤河川の流域において、概ね１０年に１回程度発生する規模の降雨に対する浸水想定家屋数が減少した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

・当該計画は３期計画への継続事業であり、事業区間の完了に至らなかった要素事業について、今後も継続して事業を実施し、引き続き、京都市内を流れる都市基盤河川の改修を進め、安心安全な市民生活の確保を図っていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	24%	・ 事業実施期間に目標とする事業区間の完了に至らなかった要素事業があったため
	最 終 実績値	22%	
2			
	最 終 目標値	24%	・ 事業実施期間に目標とする事業区間の完了に至らなかった要素事業があったため
	最 終 実績値	21%	